



教育目標 信念とともに 山の如く 優しさとともに 海の如く 勇気をもって たくましく生きる

重点目標 求めて学ぶ 共に生きる 力を尽くす生徒の育成

令和7年度 第30回入学式

校長式辞 ～粘り強く努力を続け、声を掛け合い、助け合い、充実した中学校生活を～

(前略)

入学にあたり、こんな中学生になってほしいというお話を2つします。

1つ目です。アメリカのペンシルベニア大学の教授、アンジェラ・ダックワースさんが書いた「GRITやり抜く力」という本が世界中で脚光を浴び、ベストセラーとなりました。ダックワースさんはニューヨークの公立中学校で教師をしていた時期がありました。大勢の中学生に授業で数学を教え、テストをして成績をつける、そんな仕事をしているときに、ふと気が付いたことがありました。それは、IQつまり、知能指数が高い生徒がよい成績を収めているわけではない。IQがさほど高くない生徒でも良い成績を収めているということです。そこで良い成績を収めている生徒の共通点が何であるかを見つけ出すために、教師を辞め、大学で心理学を学び、研究を始めました。そして、その共通点が「GRITやり抜く力」だということ突き止めました。また、研究を進めていくと、勉強の成績だけではなく、ビジネス、スポーツなどあらゆる分野で成功を収めている人たちにある共通点が「才能」ではなく「やり抜く力」であることが分かりました。ダックワースさんは「やり抜く力」とは「情熱と粘り強さ」だと言っています。

では、どうすれば「やり抜く力」を高められるのか。ダックワースさんは楽観的に物事を考えることが重要だと言っています。例えば、テストの点数が悪かったとします。その時に「この教科は自分には向いていない」「テストが難しすぎる」といった永続的で抽象的な考え方をする人を悲観的な人と分類します。一方、「勉強時間が足りなかったのではないか」「勉強効率が悪かったのではないか」など、一時的で具体的な考え方をする人を楽観的な人と分類します。悲観的な人は「自分の力ではどうにもならない」と思ってしまいますが、楽観的な人は「どうにかできる」と思えます。だから、努力を継続することができるのです。この「どうにかできる」という考え方を「成長思考」と呼んでいて、成長思考が強い人ほどやり抜く力が強いということが分かりました。そして、努力をし続けた人が成功を手にすることができるのです。

学習の成果を上げることに、自分が求める人生を手に入れることに、才能はほぼ関係ありません。やり抜く力を高めてください。「私には無理だ」と諦めてしまうのではなく、「私にはまだ〇〇が足りていないだけ」という成長思考をもち、粘り強く努力を続けることができる中学生になってください。きっと成功を手にすることができることでしょ。

2つ目は、自立した人になってほしいということです。自立とは「自ら立つ」と書きます。人としての自立は他人の力を借りずに自分の力で行うことだと思っていました。しかし、中央教育審議会元委員の名古屋大学名誉教授、安彦忠彦先生とお会いしたときに、先生は「自立とは、自分のことを自分できちんとできることに加えて、周りに困っている人を見かけたときに助けてあげようとする気持ちや行動も含みます」とおっしゃっていました。



自分だけできていければよいという心では自立した人とは言えません。困っている人に気が付いたら、ぜひ「どうしたの?」「大丈夫?」と声をかけることができる生徒になってください。(中略)

終わりになりますが、保護者の皆様に一言ご挨拶を申し上げます。本日は大切なお子様のご入学、本当におめでとうございます。制服に身を包んだお子様の姿に感慨もひとしおのことと拝察いたします。お子様一人一人に秘められている可能性を最大限に引き出すために、私たち山北中学校教職員一同は全力を挙げて教育活動に邁進いたします。山北中学校の教育活動に何卒、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、地域の皆様におかれましては、毎年、生徒の安心安全な学校生活をはじめ、教科書では学べないこと、学校の中にも感じるができないことなど、ふるさと、山北ならではの特色ある教育活動にご尽力いただき心より感謝申し上げますとともに、本年度も引き続き、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

(以下略)

歓迎の言葉から（生徒代表 3年 加藤 大成さん）

(前略)

皆さんは、沢山の経験をした小学校を巣立ち、中学生となった今、ワクワクした気持ちと同時に、慣れない環境に不安な気持ちでいっぱいだと思います。でも大丈夫です。私も入学した頃は、不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、今は毎日の学校生活を楽しく、不安なく過ごしています。みなさんもきっと、たくさんの人や仲間と、たくさんの時間を過ごしていくうちに、楽しい学校生活を送れるようになると思います。とはいえ、これからの中学校生活について分からないことが多いと心配だと思います。中学校の生活について簡単に紹介します。これから始まる中学校生活の特徴は3つあります。

1つ目は勉強です。内容はもちろん難しくなります。そして、教科ごとに教えてくださる先生が変わります。更に授業時間が長くなります。授業に追いついていけるように、分からないことがあったら、どんどん質問しましょう。また、内容を忘れないように予習、復習をしっかりとしましょう。

2つ目は、部活動です。どの部活動も大会やコンクールに向けて、目標に向かって切磋琢磨しています。部活動では、苦しかったり、辛いことがあります。しかし、目標を達成したときの達成感や、チームの勝利に貢献したり、できなかったことができるようになり、部活動でしか味わえない様々な喜びや達成感を感じられます。ぜひ部活動に入って、喜びを分かち合いましょう。

3つ目は、体育祭や文化祭などの行事です。体育祭では、生徒が協力して準備を進めます。文化祭の合唱では、生徒が中心となって合唱の練習をしていきます。他にもたくさんの行事があります。山北中学校の仲間と一緒に、協力して、行事を盛り上げていきましょう。

山北中学校の伝統は、あいさつと合唱です。あいさつは、相手とのコミュニケーションのきっかけになります。また礼儀です。毎日元気にあいさつをしましょう。合唱では、生徒で一致団結し、歌う合唱は、とても素晴らしい合唱になります。皆さんも山北中学校の一員として、合唱を盛り上げていきましょう。これから、山北中学校の伝統をより良いものにしていきましょう。

最後に、中学校生活の3年間は長いようで短いです。3年後に後悔のないようにたくさんチャレンジしましょう。分からないことや悩みがあれば、2年生、3年生の先輩に相談してみてください。必ず相談に乗ってくれます。これからたくさんの思い出を一緒につくっていきましょう。



誓いの言葉（新入生代表 青木 穂海さん）

(前略)

今日から、この山北中学校の生徒という自覚をもち、勉強や部活動、学校行事などに積極的に取り組み、充実した中学校生活を送りたいです。そのために、がんばりたいことが2つあります。

1つ目は、勉強です。算数が数学に変わり、英語も話す・聞く活動だけでなく、読む・書く活動も本格的に始まるなど、勉強が難しくなります。しっかりと予習、復習をして、授業で理解できるようにしたいです。分からないことは先生方や先輩方に聞きながらがんばりたいと思います。



2つ目は、学校行事です。小学校では、運動会や六送会などのたくさんの行事を通じて、チームワークの大切さを学びました。その経験を生かし、中学校でもクラスの友達や先輩方と進んで交流していきたいです。

中学校生活の中では、苦しいこと、困難なことがあるかと思います。そんな時には、先生方や先輩方に相談したり、友達と支え合ったりしながら、前を向き、強い気持ちをもって乗り越えていきたいです。

また、私たちが安心して中学校生活を送ることができるのも、多くの方々の支えのおかげです。感謝の気持ちを忘れずに、過ごしていきたいと思います。

最後になりますが、お忙しい中、私たちの入学式にお越しくださった来賓の皆様、本当にありがとうございました。校長先生をはじめ、先生方、先輩方、地域の皆様、これから3年間よろしくお願いします。山北中学校の一員として、皆様の期待に応えるため、何事にも真剣に取り組みます。中学生になった今日の気持ちを忘れず、充実した中学校生活を送れるよう、精一杯努力することをここに誓います。

令和7年度教職員の紹介

〔転入・新任職員あいさつ〕

教頭 夏井 徳治（新潟県立少年自然の家より）

この度の異動で山北中学校に勤務させていただくことになりました。県内随一の美しい自然環境で心豊かな地域・保護者の皆様、子どもたち、職員で素晴らしい伝統を継承していきたいと考えています。PTA活動をはじめご協力、ご支援を何卒、宜しく願いいたします。

教諭 須貝 将士（胎内市立中条中学校より）

3学年主任、進路指導主事を担当します。生徒のみなさんの可能性を大きく広げるために全力でサポートしていきます。理科の授業では、科学的な考え方を身に付けさせ、知識・技能を生活に役立てることができる力を育てていきます。よろしくお願いいたします！

教諭 松本 優作（新採用）

この度、新採用として山北中学校に勤めることとなりました。自然豊かな環境の中で、伸び伸びと暮らす生徒と共に学校生活を送れることをとてもうれしく思います。生徒に負けないうらい元気に勤めて参りますのでどうぞよろしくお願い致します。

教諭 当摩 天喜（新採用）

今年度から山北中学校に勤務させていただきます。山があり、海があり、川がある、自然に囲まれた山北中学校で勤務することができて大変うれしく思います。初任校ということで、おぼつかない部分があるとは思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

教諭 今井 学（初任者拠点校指導教員 本務校：村上第一中学校）

初任者研修拠点校指導教員という立場で、火曜日、水曜日に勤務します。松本先生、当摩先生の授業を中心に、先生と生徒の皆さんの取組を参観します。山北中での勤務は初めてになりますが、四季の変化もあわせて楽しみにしています。よろしくお願い致します。

4月から復帰しました！

栄養教諭 佐藤 美春

出産・育児のためにお休みをいただいておりますが、このたび復帰しました。今年度も、「栄養バランスよく、安全でおいしい給食」を目指し、子どもたちが安心して給食の時間を過ごせるよう努めます。また、ますます充実した食育を進めていきたいと思います。引き続きよろしくお願い致します。

[令和7年度 教職員の紹介]



校 長
小田 剛志



教 頭
夏井 徳治
(社会)



教務主任
支援A担任
荒木 秀治
(社会 陸上・駅伝)(数学 男子バスケ)



1 学年主任
生徒指導主事
相馬 和憲



1 学年担任
当摩 天喜
(体育 野球)



支援B担任
研究主任
田中 恵
(音楽・吹奏楽)



介助員
1 学年副任
富樫 ますみ



2 学年主任
渡邊 尊仁
(国語 女子バスケ)



2 学年担任
松本 優作
(英語 卓球)



養護助教諭
2 学年副任
東 みづほ



3 学年主任
進路指導主事
須貝 将士
(理科)



3 学年担任
佐藤 真士
(英語)



栄養教諭
3 学年副任
佐藤 美春



市非常勤講師
3 学年副任
齋藤千代文
(学習支援 野球)



A L T
ジュノ バレリオ



主 任
大滝 裕子



技能員
齋藤 勉



スクールサポート
スタッフ
田村 由佳



兼務教職員
家庭
桐生 里美
木曜日勤務



兼務教職員
美術
塚野 颯
火曜日勤務



兼務教職員
技術
村上 清人
木曜日勤務



初任者拠点校
指導教員
今井 学
火・水曜日勤務

お願いします

